

令和6年度宝達志水町要保護児童対策地域協議会 次第

日時 令和6年5月28日(火) 午後2時～

場所 町民センターアステラス 研修室

1 開 会

2 町長あいさつ

3 委員の紹介

4 会長あいさつ

5 報告事項

(1)令和5年度児童家庭相談実績報告について

(2)令和5年度宝達志水町要保護児童対策地域協議会の取り組み状況について

(3)令和6年度宝達志水町要保護児童対策地域協議会の活動計画について

6 その他

7 研修会 演 題 「要対協の課題と児童虐待の現状について」

講 師 石川県七尾児童相談所 所長 水上 明 氏

8 閉 会

配布資料一覧

- ・宝達志水町要保護児童対策地域協議会設置要綱
- ・宝達志水町児童虐待防止マニュアル

令和6年度宝達志水町要保護児童対策地域協議会委員名簿

名 称	職 名 等		氏 名
会長	社会福祉法人聖ヨハネ会	理事長	側垣 二也
副会長	主任児童委員	代 表	柏崎 直美
委員	七尾児童相談所	所 長	水上 明
〃	能登中部保健福祉センター	所 長	坪田 誠
〃	羽咋警察署 生活安全課	課 長	福井 真 代理 坂下 愛
〃	民生・児童委員協議会	会 長	諸田 利信
〃	校長会	代 表	村田 浩彦
〃	人権擁護委員	代 表	山本 君枝
〃	保育士会	代 表	木村 君枝
〃	教育委員会 学校教育課	課 長	松浦 賢也
〃	教育委員会 生涯学習課	課 長	宮本 孝則
アドバイザー	七尾児童相談所	主 事	越田 涼水
〃	能登中部保健福祉センター	専門員	西出 麻美
事務局	健康福祉課 子育て応援室	室 長	中川 郷子
〃	健康福祉課 子育て応援室	子ども家庭支援員 (主任保育士)	北村 康子
〃	健康福祉課 子育て応援室	保健師	水原 琴
〃	健康福祉課 子育て応援室	社会福祉士	千原 剛

5 報告事項

(1) 令和5年度児童家庭相談実績報告について

ア 相談受付件数（実人数：児童1名につき1件）

児童虐待相談 （ネグレクト・身体的・心理的）	23件
養護相談	5件
合 計	28件

【過去6年間の相談実績】

平成29年度	25件
平成30年度	25件
令和元年度	27件
令和2年度	17件
令和3年度	13件
令和4年度	15件

イ 相談における児童の年齢（内訳）

0歳～3歳未満	4件
3歳～就学前	6件
小学生	8件
中学生	1件
高校生	1件
18歳以上	8件
合計	28件

ウ 相談経路

学校(延) 1件 保育所(延) 2件 児童相談所(延) 1件 警察(延) 3件
町保健師(延) 5件 健康福祉課(延) 4件 (1世帯1件)

エ 支援状況

相談(延) 49件 訪問(延) 2件 ケース会議(延) 5件

オ 支援結果

終結 8件 継続 17件 移管 3件

(2) 令和5年度要保護児童対策地域協議会の取り組み状況

ア 関係機関との支援のための連携会議

代表者会議

【会議構成】各機関の代表者による会議

【開催日時】令和5年5月18日(木)午後2時～3時

【内 容】要保護児童対策地域協議会運営状況

家庭児童相談実績報告について

令和5年度の活動計画について

研修会 講師:七尾児童相談所 水上 明氏

進行管理会議

管理台帳に記載の全ケースについて支援の進行状況等を把握する会議

【会議構成】七尾児童相談所 課長・担当児童福祉司

学校教育課 担当

子育て応援室 担当保健師

【開催回数】3回(5月23日、10月11日、3月18日)

個別ケース検討会議

【内 容】要保護児童の状況の把握、情報の共有、支援方法の検討など

【参 加 者】各機関の担当者

【開催回数】5回(対象者 実人数5人 延べ人数6人)

イ 広報活動、普及啓発

11月の児童虐待防止推進月間に合わせて、オレンジリボンキャンペーンを実施した。

(ア) 町広報紙やホームページでの啓発

(イ) 児童虐待防止推進月間PRコーナーの開設

【実施期間】令和5年10月29日～11月30日

【実施場所】町民センターアステラス

生涯学習センターさくらドーム21

【実施内容】のぼり旗、ポスター掲示、チラシ、グッズ配架

(ウ) 文化祭にて、オレンジリボンキャンペーンの周知

【実施内容】主任児童委員と啓発チラシやグッズの配布

(エ) 民生委員定例会にて虐待早期発見の呼びかけ

【実施内容】オレンジリボンの配布

ウ 関係機関との連携強化のための取り組み

取 組	内 容 ・ 実 績
学校訪問 主任児童委員との情報交換会	6 校を訪問 町内の小学校(5 校)と中学校(1 校)を訪問し、相談窓口のPR、見守りや支援を継続しているケースや新たに気になるケース等の情報を収集し、相談・支援につなげる。
子育て支援連絡会	1 回開催 学校での適切な支援のために、次年度就学児について町内保育所と関係機関で情報交換を行う。
児童クラブ入所判定会・連絡会 (R5 年度～開始)	入所判定会に合わせ、入所予定児童の情報交換および、支援策や学校との連携等について話し合う。随時、児童クラブと相談・連携をしている。
母子保健福祉連絡会 (R4 年 12 月～開始)	2 回開催(うち1回は書面開催) 母子保健担当保健師と能登中部保健福祉センター母子保健担当による連絡会。産後うつ等で支援が必要なケースに対し、支援策や連携等を話し合う。

エ 虐待予防・早期発見のための取り組み

業 務	内容と利用人数
乳児家庭全戸訪問 (生後4か月までの全戸訪問) 養育支援訪問事業	全戸訪問52人、訪問延べ55人(里帰り含む) 全戸訪問では町の保健師が出生児の全数を訪問する。加えて養育支援訪問では、児や母への支援が必要な家庭を訪問し支援する。
助産師相談事業 (R4年9月～開始)	11回開催、利用者延べ21人 月1回助産師による個別相談で、授乳や児の発育・発達面の悩みの軽減を図り、産後うつ予防につなげる。
MCG「ママの会」 (親支援のグループワーク教室)	月1回(第3火曜日)アステラスで開催 参加者延べ0人 子どもや親自身の問題を言葉に出すことで、親の心のケアとなり虐待の未然に防ぐ。

保育所巡回事業	23回実施、実人数 120人 町内4保育所を巡回し、入所児童の発育・発達状況、育児状況等を定期的に把握することで、虐待の早期発見につなげている。
子育てミニ講座 (子育て支援センター事業)	年10回開催、参加数親子延べ135人 親子のふれあいや体験、食育等の学びを通して、愛着形成や虐待の未然防止につなげている。また、センターで子育ての不安や悩み等の相談を受けることで、地域の子育ての支援を担う。

(3) 令和6年度要保護児童対策地域協議会の活動計画について

ア 関係機関との支援のための連携会議

代表者会議

【会議構成】各機関の代表者による会議

【開催日時】令和6年5月28日(火)午後2時～

【内 容】要保護児童対策地域協議会運営状況及び要保護児童の取り組み状況について

進行管理会議

【実施予定日】令和6年6月12日(水)(第1回)

【内 容】各ケースの進行管理

※年3回を予定しており、10月(第2回)、令和7年3月(第3回)開催予定

個別ケース検討会議

【参 加 者】各機関の担当者

【開催回数】必要に応じて随時開催

イ 広報、普及啓発(11月児童虐待防止月間の活動)

11月児童虐待防止月間の活動

下記3つの方法で虐待防止や早期発見のための普及啓発をする。

(ア)町広報紙及びホームページに記事の掲載

(イ)児童虐待防止推進月間PRコーナーの開設

(ウ)文化祭にて、オレンジリボンキャンペーンの周知

主任児童委員と啓発チラシやグッズの配布

(エ)民生委員定例会でのオレンジリボンキャンペーン啓発チラシ等の配布、虐待の早期発見の依頼

ウ 連携強化のための取り組み

【内 容】主任児童委員と要対協の学校訪問、主任児童委員との情報交換

【実施日時】今後日程調整を行い実施

エ 町保健師による虐待予防・早期発見のための取り組み

(ア)保育所巡回 23回実施 (児童クラブ4回)

(イ)家庭訪問 随時実施

(ウ)教室等の開催 プレパパ・プレママ教室 年4回開催

オ 子育て世帯訪問支援事業

【内 容】看護師、保育士などの資格を持ったヘルパーが家事、育児をサポート

【対 象 者】妊婦、産後1年未満の産婦、保護者の病気など(親族の援助を受けられない家庭)